

分かりやすい表示とは？！

昨年度、本会ではUDFの区分表示に関する認識調査を実施いたしました（インターネット調査、2020年10月）。調査の主旨は、「利用者から見た、現在のUDF区分表示に対する意識を確認することで、そのあるべき形や、今後の啓発方針のヒントを探ること」とし、「UDFそのものの認知」、「UDF区分の理解」、「アイデアベースのUDF区分表示に対する受容性」等について調査しました。今回は一部をご紹介します。

対象者は、「将来の介護支援者」（①身内に被介護者がいないが、近い将来介護支援が必要になる可能性がある（n=200））、「現在の介護支援者」（身内に被介護者がいる。②UDF非認知、③UDF認知・非使用、④UDF認知・現在使用。各n=100（計300））、「現在の被介護者へのサービス提供者」（介護職に就いている。⑤ホームヘルパー・介護福祉士、⑥ケアマネジャー、⑦栄養士・管理栄養士、⑧医師・看護師、⑨歯科医師・歯科衛生士。各n=100（⑨のみ70。計470））の合計970人となりました。

調査主旨は上記の通りですが、この調査を行うこととした動機の一つは、現在のUDFの区分表示について、利用者が正しい「区分の数」や「区分の順番」を理解いただけているかという点について知ることになりました。

Q. 「UDF」利用時「UDFマーク」がついていることを確認する

まずこの問いについては、④UDF認知使用者では87%と高い結果でした。また、「サービス提供者」では⑥ケアマネが100%でした。次に⑧医師・看護師が67%でした。UDFマークが介護食品のブランドとして高い認知があることがうかがえます。

Q. UDFについて認知している区分数

正解は、「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の4区分ですが、④UDF認知使用者のうち正答は22%でした。また、⑦栄養士・管理栄養士では38%と他の対象者に比べて少し高い結果でした。他には5区分や3区分といった回答もみられました。

Q. UDF区分について「やさしい」と思う順番

UDF区分表示を「かまなくてよい」から「容易にかめる」までやさしいと思う順に並べ替えてもらいました。結果、④UDF認知使用者にあっても正解率は40%でした。「サービス提供者」についても⑦栄養士・管理栄養士で61%が最高でした。「舌でつぶせる」と「歯ぐきでつぶせる」の順を誤ってしまうケースが多かったようです。

本会ではこの調査結果を契機に、UDFの一層の啓発はもちろんのこと、今後ご利用の皆様にとって分かりやすいUDFとなるよう課題を整理し、対応方法を検討して参ります。

		■ 正解回答	□ 不正解	n =	0%	20%	40%	60%	80%	100%
現在介護支援者	将来介護支援者	200	44	57						
	UDF非認知	100	49	51						
	UDF認知非使用	100	52	48						
	UDF認知使用	100	40	60						
サービス提供者	ホームヘルパー・介護福祉士	100	46	54						
	ケアマネジャー	100	48	52						
	栄養士・管理栄養士	100	61	39						
	医師・看護師	100	52	48						
	歯科医師・歯科衛生士	70	50	50						

UDF区分について「やさしい」と思う順の回答結果

【UDF商品登録状況（2,129品目・4月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とりみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	4	0	97	4	116
冷凍食品	300	248	826	20	0	0	1,394
常温食品	178	77	208	154	2	0	619
合計	478	336	1,038	174	99	4	2,129

【会員の異動（4月）】

計90社（4月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>